



「トリ」は三、「ターマ」は多摩からの造語。三多摩地域への想いを込めて。

【編集】東京都公民館連絡協議会研修担当 【発行】東京都公民館連絡協議会

西東京市芝久保公民館 ☎042-461-9825 小金井市公民館東分館 ☎042-384-4422

2012/3
第16号

職員部会行政視察

相模原市立

光が丘公民館を視察して

秋山喜久江（福生市公民館松林分館副館長）

今年度の公民館研究大会で事例報告をいただいたことで、この視察を行うこととなった。

光が丘公民館の運営は、館長は非常勤で月50時間勤務、館長代理(市職員)と推進委員3人(非常勤)である。市内には32の公民館があり、人口約72万人で約2万2千500人に1館ある計算になる。この館のサークル数は約200あるそうである。

この館では、平成13年に公運審を公民館運営協議会に替え、学校長、地区社協、自治会連合会、交通安全協会、小中学校PTAなど地域に根ざした団体からの選出を多くして、地域との連携を意識している。

館内には自治会が優先して使用できるコミュニティ室がある。またこの地域は、昔牧場地で、住民は家の建設のためにライフライン設置等ですいぶん協力をして住みやすい地域づくりをしたらしい。そんな協力体制ができていて、それが公民館活動にも反映しているそうである。

館のHPも公民館内の組織の中に「HP作成委員会」があり、全員がボランティアで作成している。担当職員はボランティアをすることによって知識の習得など本人も得られるものがあるように工夫をしている



そうである。職員の熱心な仕事ぶりが伺える。

HPには、至る所に工夫が施されていて、フォトギャラリー、地域の熱中人、詳細なバス路線などのページもあり地域の方が作った手作りの効果がいたるところにある。あなたも是非一度光が丘公民館にアクセスをしてみてください。

今回訪問して、公民館の運営が職員と地域の方とのコミュニケーションが充分に図られていると痛感した。充実したHPの作成は当然のことなのかもしれない。これこそ我々が探し求めていた公民館だ！遠いようで近い相模原、一度訪れてみては如何ですか！

～この一年を 振り返って～



【館長部会】

館長部会長 大関 勝広
(小金井市公民館長)

今年度の館長部会長市は小金井市が担当となり、開催させていただきました。

1回目の館長部会は8月26日に開催し、8市のご参加により、各市の情報交換や今後の都公連のあり方について話し合いました。各市の情報交換については、東日本大震災後ということもあり、主に各市の節電対応に関する話題が中心となり、活発な情報交換ができたと思っております。また、「今後の都公連のあり方について」ということで、現在、都公連の加盟市が12市1町となる中で、果たしてこのままでいいのだろうか、三多摩26市が一堂に会する場を何とか実現できないだろうかということの問題提起させていただき、引き続き協議したいということで終了しました。

2回目は1月31日に開催し、10市のご参加により、各市の情報交換を30分程度行い、その後館長研修ということで「公民館の今日的課題と展望」というテーマで開催しました。各市の情報交換では、社会教育法の改正に伴う各市の条例改正の状況について報告されました。また、館長研修では、全公連の事務局次長である村上英己さんを講師に招いて、震災を教訓として公民館が災害に果たす役割などの講義をしていただき、とても参考になる話だったと感じました。

最後に、本市の都合や諸事情により2回

の開催しかできず、消化不良のような状態で他市の方々には大変申し訳なく思っており、ご了承賜りますようお願いいたします。また、次年度の館長部会につきましては、内容の濃い、有意義な情報交換ができますことを希望して、館長部会の報告とさせていただきます。

ありがとうございました。



【委員部会】

「一年間ありがとうございました」

委員部会長 高塚たか子

(国分寺市立恋ヶ窪公民館公運審委員)

東日本大震災から1年が過ぎましたが、復興にはまだまだ問題が山積みのような中です。そんな中でも委員部会として4月にスタートしました。10市10人だったメンバーが、声かけにより、12市12人となり、毎月の定例会も充実しました。

第2回研修会からは各市の公運審のアンケート等も生かして講師の方を選びました。それでも参加者の方々の要望に応えるのは難しかったようです。各市の委員に直接、要望、意見等をいただければ助かります。

来年度の委員部会長市は国立市です。ご協力よろしくお願い致します。

東京都公民館連絡協議会の組織について、何も知らずに役員会のメンバーになりました。会長市や「東京都公民館研究大会」担当市の大変さも初めて知りました。

毎月の役員会の中で、役員構成がわかってきました。各市の代表として貴重な時間を使っています。会のために長年関わっている役員の方は特に大変だろうと思いません。でも毎年当番で来て1年毎に変わってしまうメンバーが多いのが現実のようです。

職員も公運審も、市外に目を向けて、広く公民館を考え、未来を開いて行くことが大切だと思うようになりました。その中心にはこの会があってほしいと思いました。

【職員部会】

職員部会長 尾又 史朗
(小平市立津田公民館)

光陰矢のごとし、正にあっという間に1年が経とうとしています。

毎回2市が今年度の研究テーマの「各市のホームページの状況について」を発表しました。各市の状況を様々な角度から分析し、各市が抱えている課題や問題点そして解決策を研究しました。その結果、今年は何と言っても、研究してきたテーマが「第49回東京都公民館研究大会」で発表でき、職員部会が一丸となって取り組んだことにより、助言者の講演・事例報告者の発表・参加者による熱のこもった議論で一定の解決策が得られ、実りの多い大会となったことがあげられます。

2月には、研究大会で事例報告をしていた、相模原市光が丘公民館を視察しました。光が丘公民館が、住民参加のボランティア形式による運営を継続することができたのは、各職員の事業への深い愛着、地域住民の人と人との深い絆と信頼関係のたまものであることが再認識され、視察に参加した部員にとっては、他県の公民館を知る貴重な機会になったと思います。

そして、回を重ねるごとに職員同士も親交が深まり、質疑応答や情報交換についても活発に意見が交わされ、終了予定時間を超過することもしばしばありました。

来年度の課題としては、研修部会と連携して、研修会や研究テーマの意義についても再確認する必要があると感じます。今後は、加盟市が増えることはあっても、けして減少することがないように、更に各市が連携を深め、市民に新しい発見、感動、成長を提供できるように、都公連加盟市の職員が更なる交流をすることができるこのような場は貴重であると痛感しています。

最後に、職員部会の皆様一年間お疲れ様でした。そして、協力いただいた各職場の皆様にご感謝いたします。



新年度の研修予定

新任職員研修

～公民館職員はじめの一步

初めて公民館に配属された職員の皆さん、新しい職場にはもう慣れましたか？ 分からないことや戸惑うことはありませんか？

そんな皆さんにぜひご参加いただきたい研修です。

全3回たくさんの“収穫”を得てください。

回	日程	内 容
1	5/8	① 体験！アイスブレイキング ② 公民館職員の心得 ～市民とのつながり方
2	5/15	公民館事業の企画と運営
3	5/22	社会教育法体系と公民館のあゆみ

5/8①の講師は、降旗信一さん(東京農工大学准教授)、②の講師は、片野親義さん(大東文化大学非常勤講師)。

5/15の講師は、石井一彦さん(木更津市立岩根公民館副館長)。

5/22の講師は、田中雅文さん(日本女子大学教授)。

いずれも時間は、午後2時～5時。

■対 象 公民館に配属2年未満の職員

■定 員 20人(申込順)

■その他 全3回とも参加できる方

■申込み 4/16から電子メールかFAX
で小金井市公民館へ

K020499@koganei-shi.jp

2012 年度東京都公民館連絡協議会 定期総会

●と き 4月18日(水)午後2時～

●と ころ まちだ中央公民館(町田市)

※各加盟市の代議員の方は出席をよろしく
お願いいたします。(代議員以外の方も
議決権はありませんが、傍聴できます。)

